

6 がん検診について

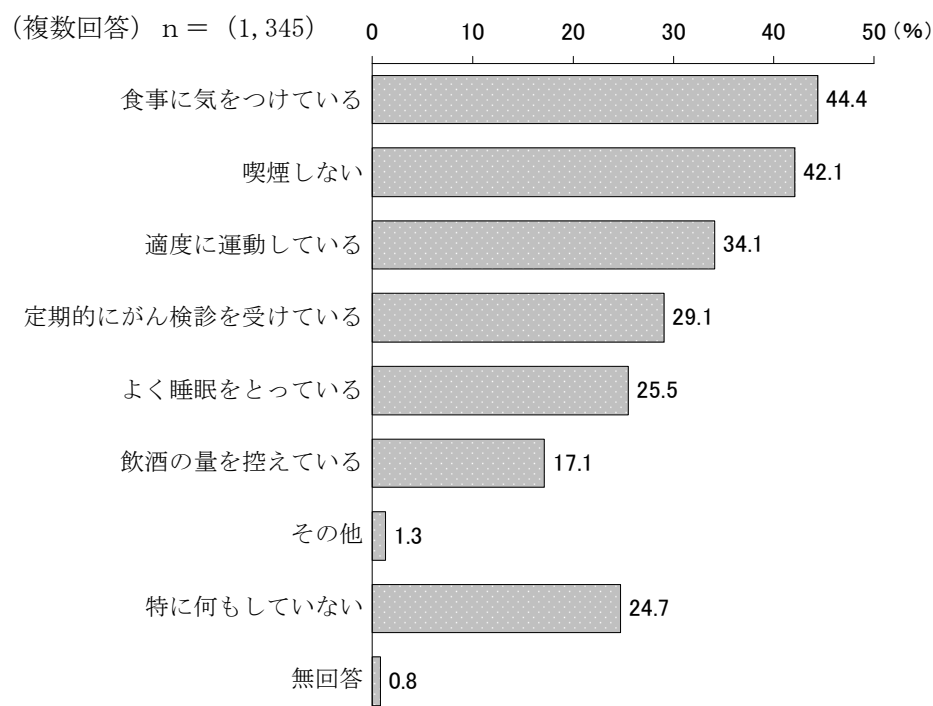
6-1 がん予防として心掛けていること

◎「食事に気をつけている」が44.4%

問14 あなたは、日頃からがん予防として心掛けていることはありますか。

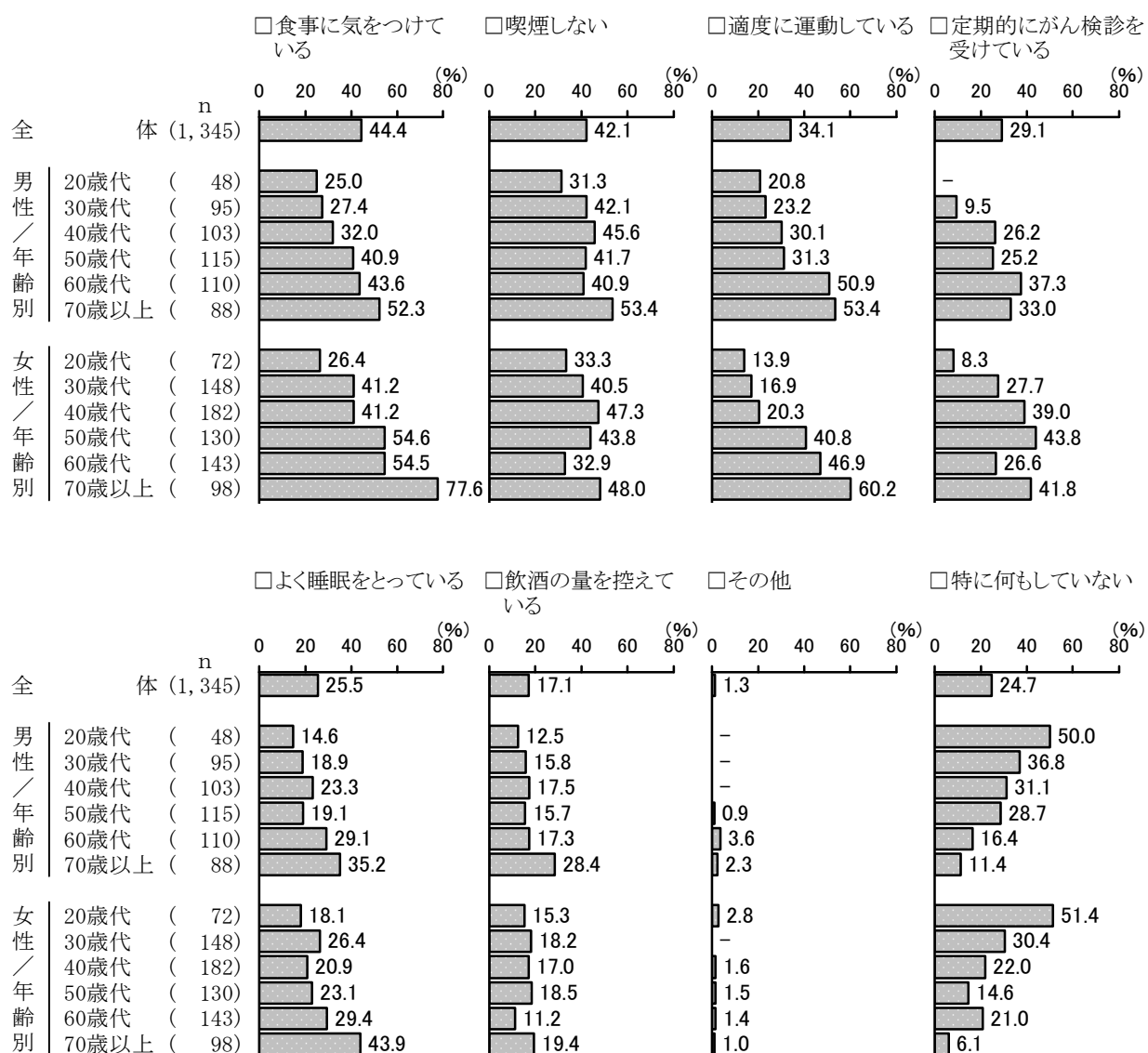
(あてはまるもの全てに○)

図表 6-1 がん予防として心掛けていること



がん予防として心掛けていることは、「食事に気をつけている」(44.4%)が最も多く、次いで「喫煙しない」(42.1%)、「適度に運動している」(34.1%)、「定期的ながん検診を受けている」(29.1%)、「よく睡眠をとっている」(25.5%)の順となっています。

図表6-2 がん予防として心掛けていること（性／年齢別）



性／年齢別では、「食事に気をつけている」は、男女ともにおおむね高い年代ほど多くなる傾向で、特に女性の70歳以上（77.6%）で多くなっています。「喫煙しない」は、男性の70歳以上（53.4%）、女性の70歳以上（48.0%）、40歳代（47.3%）の順で多くなっています。「適度に運動している」は、男女ともに高い年代ほど多くなる傾向で、女性の70歳以上（60.2%）、男性の70歳以上（53.4%）、60歳代（50.9%）の順で多くなっています。

6-2 がん検診の受診状況

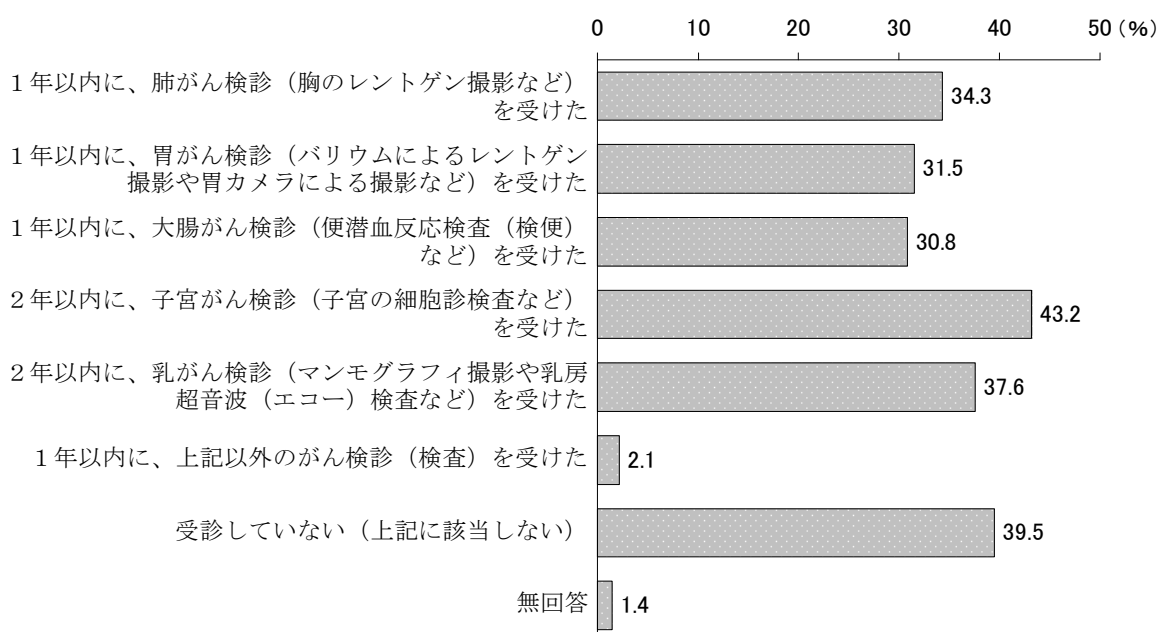
◎「1年以内に、肺がん検診（胸のレントゲン撮影など）を受けた」が34.3%、
「2年以内に、子宮がん検診（子宮の細胞診検査など）を受けた」が43.2%

問15 あなたは、がん検診又はがんの検査を含む健康診断や人間ドック等を受けたことがありますか。（あてはまるもの全てに○）

図表6-3 がん検診の受診状況

（複数回答） n = (1,345)

ただし、「子宮がん検診」と「乳がん検診」は女性に占める割合を示す n = (773)

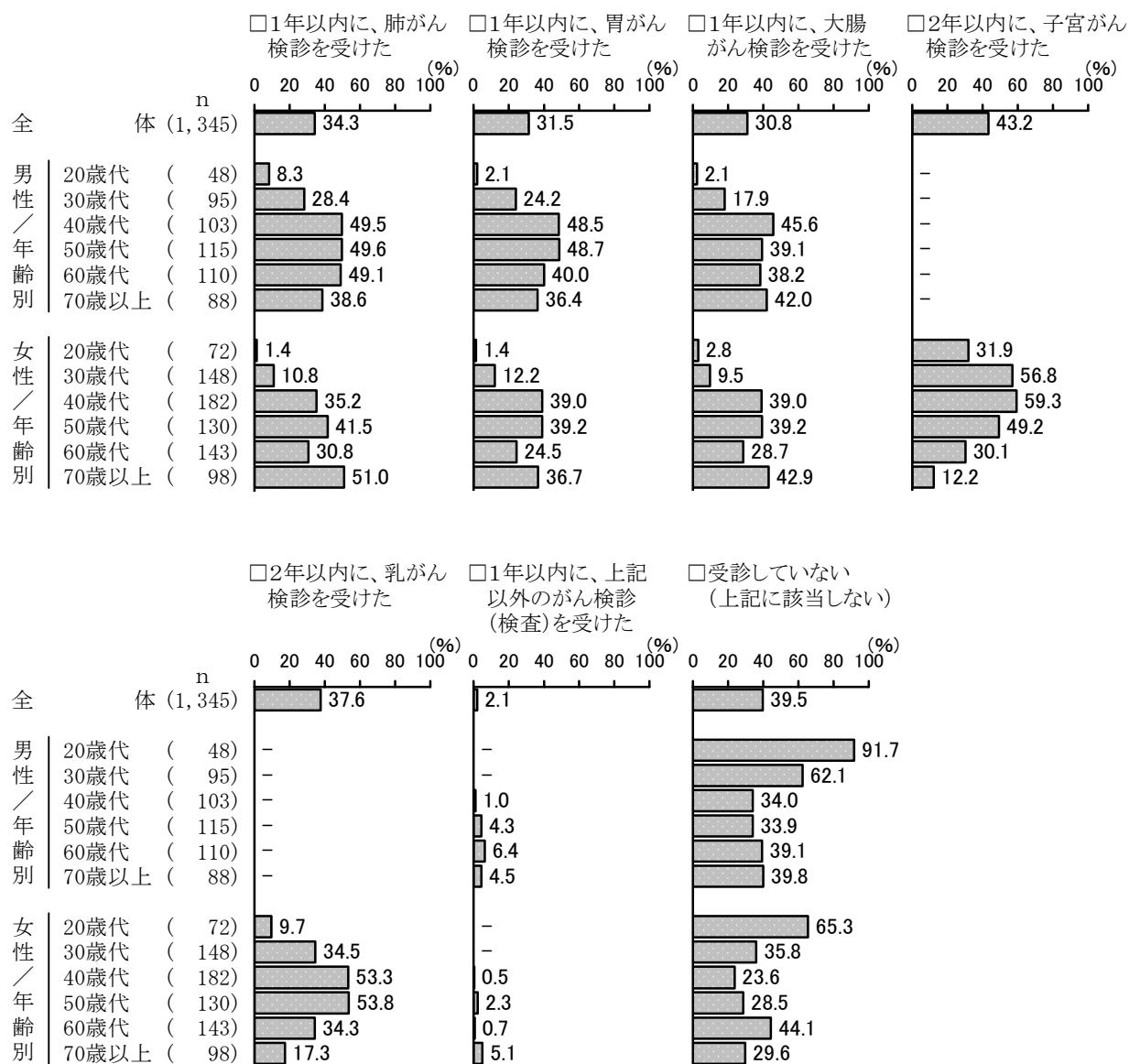


がん検診の受診状況は、「1年以内に、肺がん検診（胸のレントゲン撮影など）を受けた」が34.3%、「1年以内に、胃がん検診（バリウムによるレントゲン撮影や胃カメラによる撮影など）を受けた」が31.5%、「1年以内に、大腸がん検診（便潜血反応検査（検便）など）を受けた」が30.8%となっています。

また、女性対象のがん検診では、「2年以内に、子宮がん検診（子宮の細胞診検査など）を受けた」が43.2%、「2年以内に、乳がん検診（マンモグラフィ撮影や乳房超音波（エコー）検査など）を受けた」が37.6%となっています。

一方「受診していない」は39.5%となっています。

図表6-4 がん検診の受診状況(性/年齢別)



※「子宮がん検診」と「乳がん検診」は女性に占める割合を示す 全体 n = (773)

性/年齢別では、「1年以内に、肺がん検診(胸のレントゲン撮影など)を受けた」は、女性の70歳以上(51.0%)で多くなっています。女性対象のがん検診では、「2年以内に、子宮がん検診(子宮の細胞診検査など)を受けた」は、女性の40歳代(59.3%)、30歳代(56.8%)の順で多く、「2年以内に、乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波(エコー)検査など)を受けた」は、女性の50歳代(53.8%)、40歳代(53.3%)の順で多くなっています。一方「受診していない」は、男性の20歳代(91.7%)と30歳代(62.1%)、女性の20歳代(65.3%)で多くなっています。

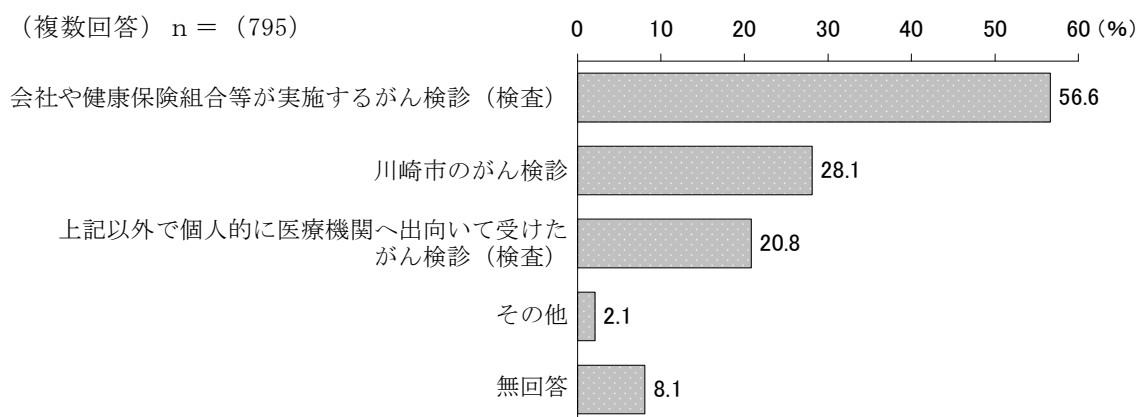
6-3 がん検診を受診した方法

◎「会社や健康保険組合等が実施するがん検診（検査）」が56.6%

「問15で、いずれかのがん検診を『受診した』と回答した方にうかがいます。」

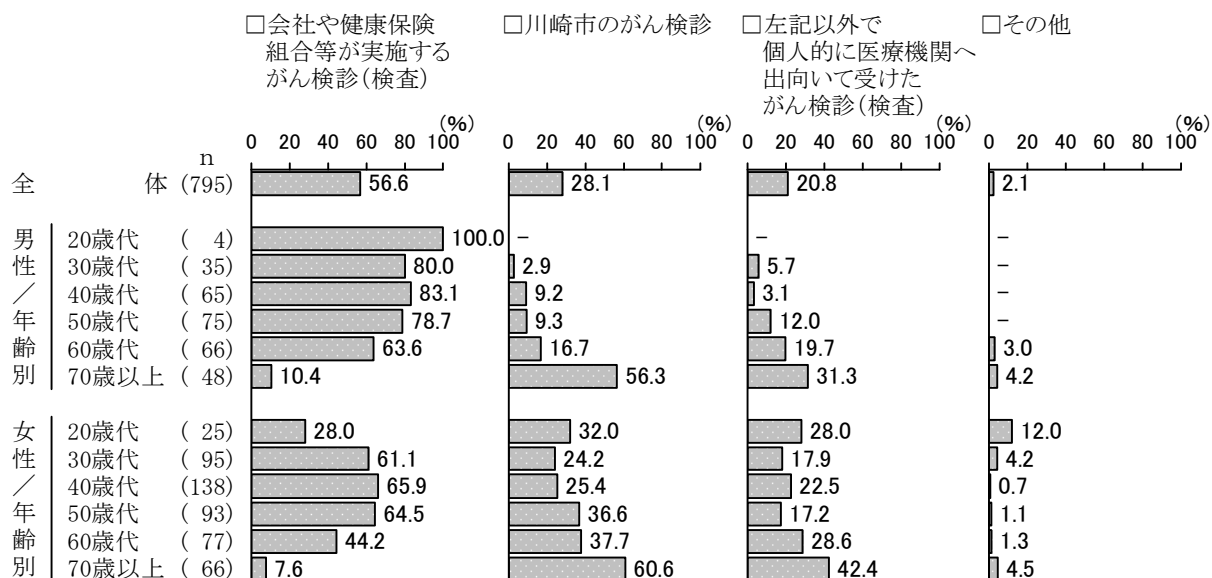
問15-1 あなたが、受けたがん検診又はがんの検査を含む健康診断や人間ドック等は、どのような機会に実施されたものですか。（あてはまるもの全てに○）

図表6-5 がん検診を受診した方法



がん検診を受診した方法は、「会社や健康保険組合等が実施するがん検診（検査）」（56.6%）が最も多く、「川崎市のがん検診」は28.1%となっています。

図表6-6 がん検診を受診した方法（性／年齢別）



性／年齢別では、「会社や健康保険組合等が実施するがん検診（検査）」は、男性の60歳代以下、女性の30歳代から50歳代の年代で6割以上と多くなっています。「川崎市のがん検診」は、男女ともにおおむね高い年代ほど多くなる傾向で、特に男女ともに70歳以上（男性：56.3%、女性：60.6%）で多くなっています。

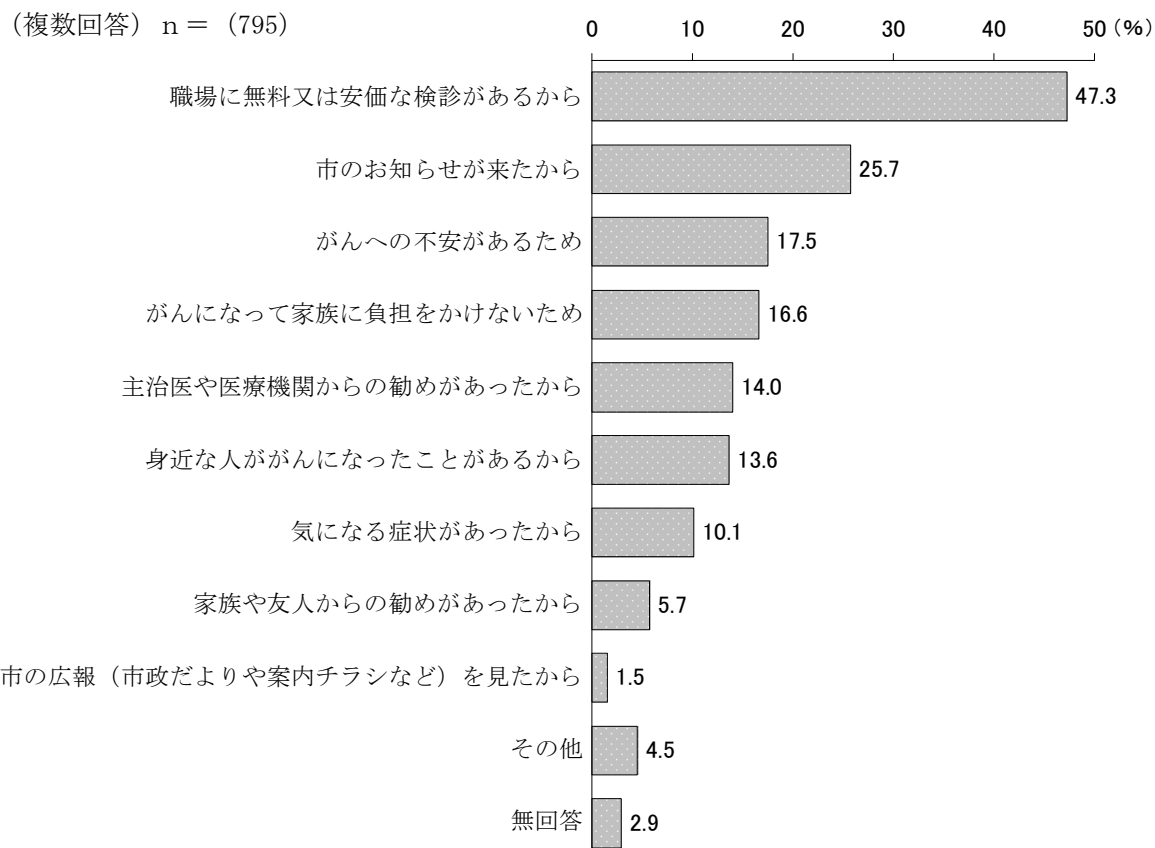
6-4 がん検診を受診した理由

◎「職場に無料又は安価な検診があるから」が47.3%

「問15で、いずれかのがん検診を『受診した』と回答した方にうかがいます。」

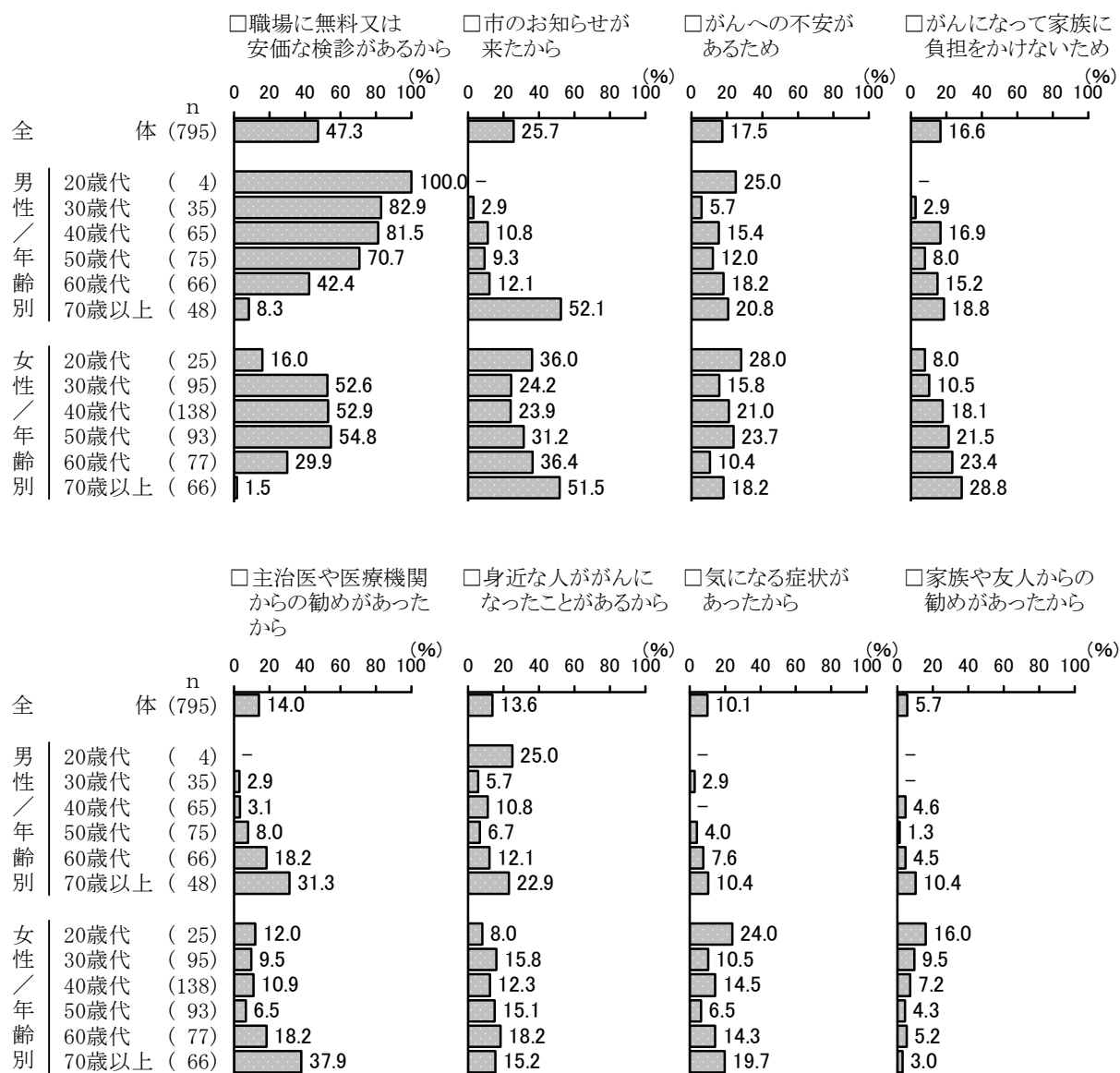
問15-2 あなたが、がん検診（検査）を受診した理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

図表 6-7 がん検診を受診した理由



がん検診を受診した理由は、「職場に無料又は安価な検診があるから」（47.3%）が最も多く、次いで「市のお知らせが来たから」（25.7%）、「がんへの不安があるため」（17.5%）、「がんになって家族に負担をかけないため」（16.6%）、「主治医や医療機関からの勧めがあったから」（14.0%）の順となっています。

図表6-8 がん検診を受診した理由（性／年齢別、上位8項目）



性／年齢別では、「職場に無料又は安価な検診があるから」は、男性では低い年代ほど多くなる傾向で、女性では30歳代から50歳代の年代で5割台と多くなっています。「市のお知らせが来たから」は、男女ともに70歳以上（男性：52.1%、女性：51.5%）で多く、「主治医や医療機関からの勧めがあったから」でも、男女ともに70歳以上（男性：31.3%、女性：37.9%）で多くなっています。

6-5 がん検診を受診していない理由

◎「時間がないから（仕事や家事で忙しいなど）」が32.6%

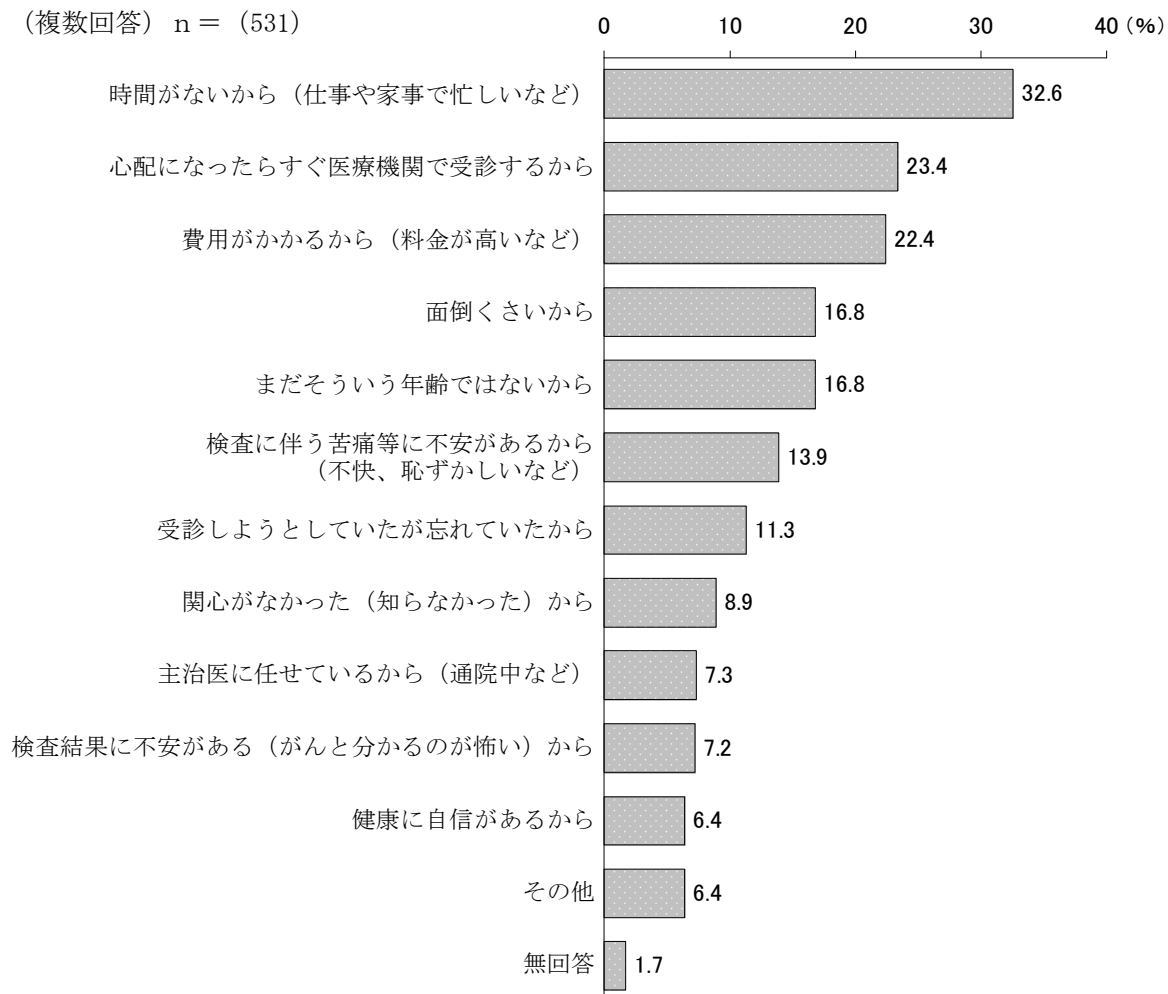
「問15で、『受診していない』と回答した方にうかがいます。」

問15-3 あなたが、がん検診（検査）を受診していない理由は何ですか。

（あてはまるもの全てに○）

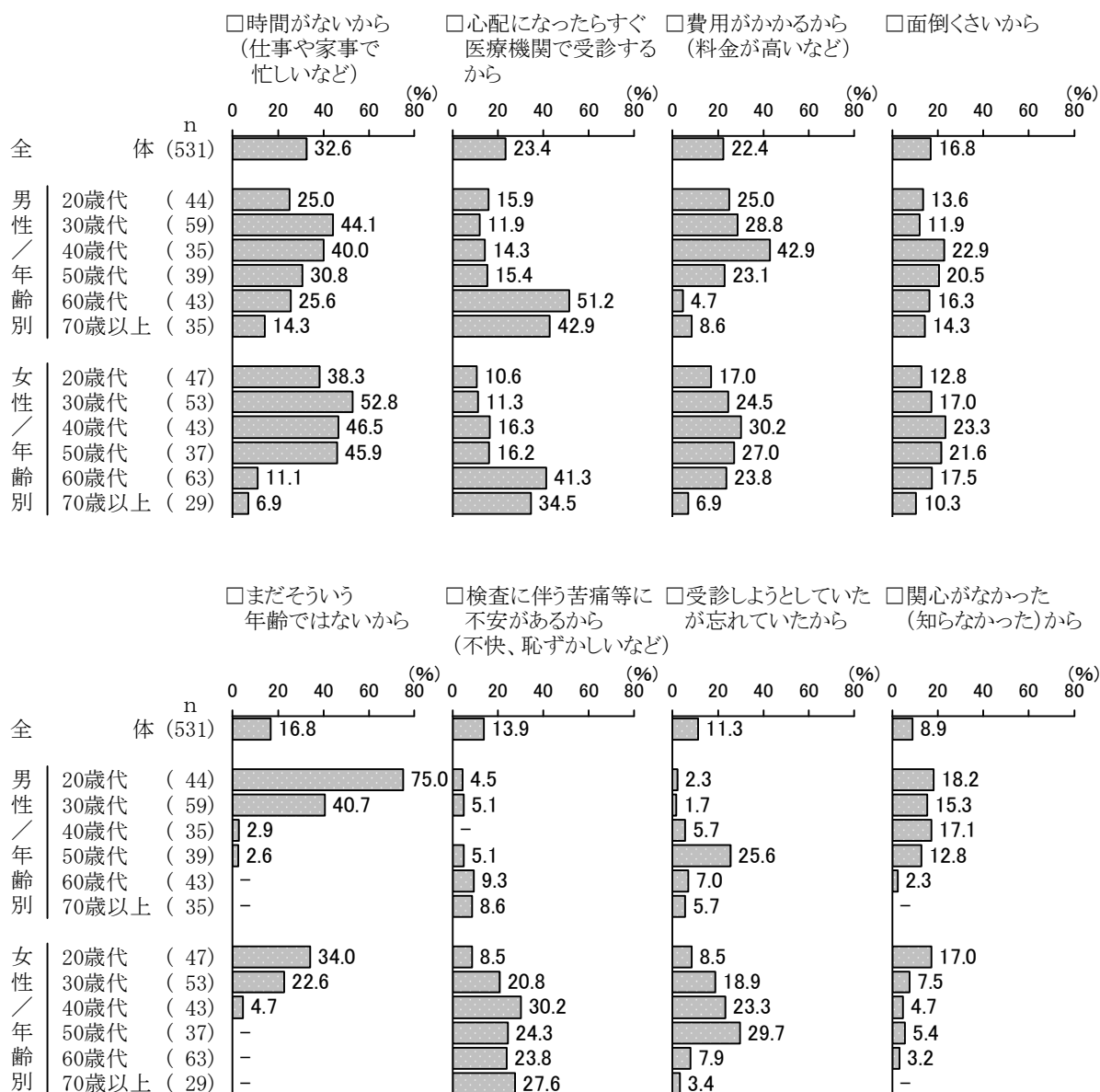
図表 6-9 がん検診を受診していない理由

（複数回答） n = (531)



がん検診を受診していない理由は、「時間がないから（仕事や家事で忙しいなど）」（32.6%）が最も多く、次いで「心配になったらすぐ医療機関で受診するから」（23.4%）、「費用がかかるから（料金が高等いなど）」（22.4%）、「面倒くさいから」と「まだそういう年齢ではないから」（ともに16.8%）の順となっています。

図表6-10 がん検診を受診していない理由（性／年齢別、上位8項目）



性／年齢別では、「時間がないから（仕事や家事で忙しいなど）」は、女性の30歳代（52.8%）で多くなっています。「心配になったらすぐ医療機関で受診するから」は、男女ともに60歳代（男性：51.2%、女性：41.3%）、70歳以上（男性：42.9%、女性：34.5%）で多くなっています。「費用がかかるから（料金が高等）」は、男性の40歳代（42.9%）で多くなっています。

6-6 川崎市のがん検診の認知度

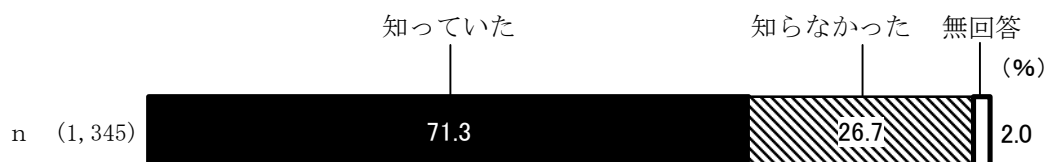
◎「知っていた」が71.3%

問16 川崎市では、職場や健康保険組合等で実施するがん検診を受診する機会が無い方を対象として、次のがん検診を実施しています。

あなたは、川崎市のがん検診を知っていましたか。(○は1つだけ)

検 診	対 象 者	主な検査内容	費 用 (所得等により無料となる場合があります)
肺がん	4 0 歳以上の市民の方	胸部エックス線検査	900 円
大腸がん		免疫便潜血検査（検便）	700 円
胃がん		胃部エックス線検査（バリウム）	2,500 円
		胃内視鏡検査（胃カメラ）	3,000 円
子宮がん	2 0 歳以上の女性市民の方	頸部の細胞診、内診	1,000 円
乳がん	4 0 歳以上の女性市民の方	視触診、マンモグラフィ検査	1,300 円

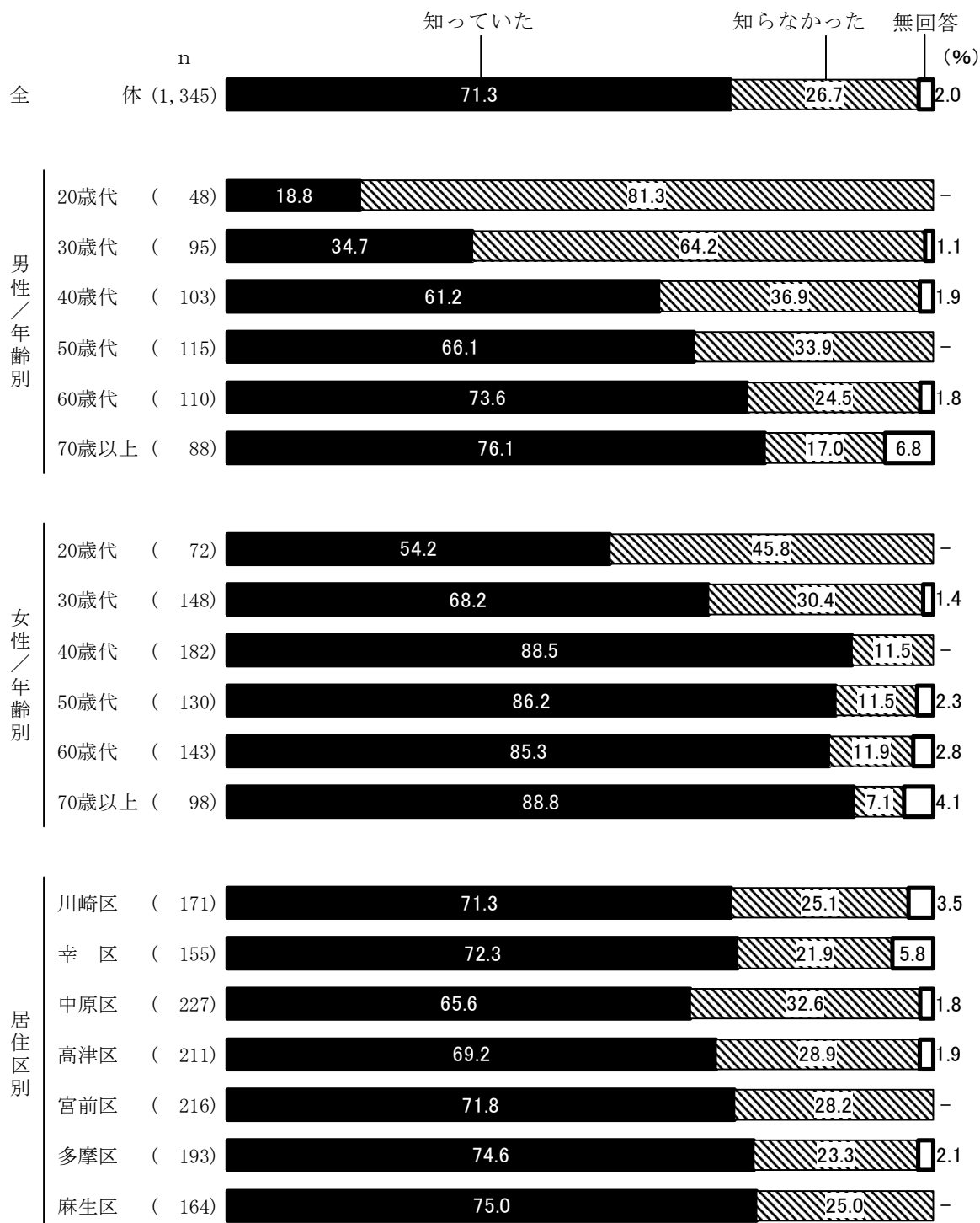
図表6-11 川崎市のがん検診の認知度



川崎市のがん検診の認知度は、「知っていた」が71.3%、「知らなかった」は26.7%となっています。

(第2回アンケート)

図表6-12 川崎市のがん検診の認知度（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、「知っていた」は、女性の40歳代以上の年代で8割台と多く、男性では高い年代ほど多くなる傾向で、70歳以上（76.1%）が最も多くなっています。

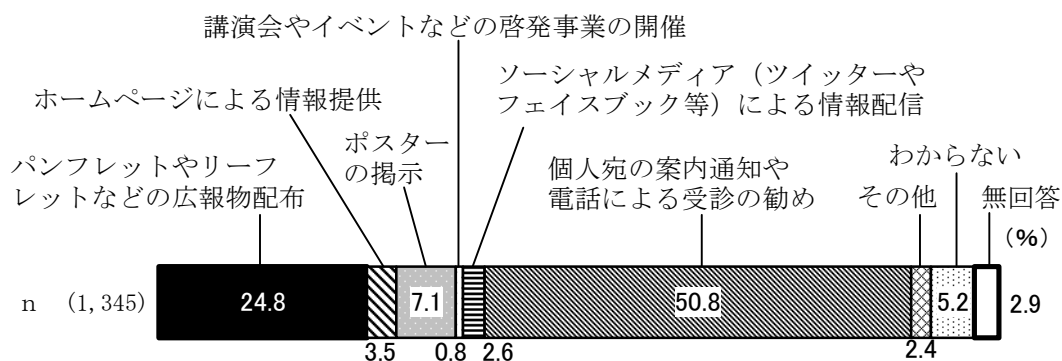
居住区別では、「知っていた」は、麻生区（75.0%）、多摩区（74.6%）、幸区（72.3%）の順で多くなっています。

6-7 川崎市のがん検診の効果的な周知方法

◎「個人宛の案内通知や電話による受診の勧め」が50.8%

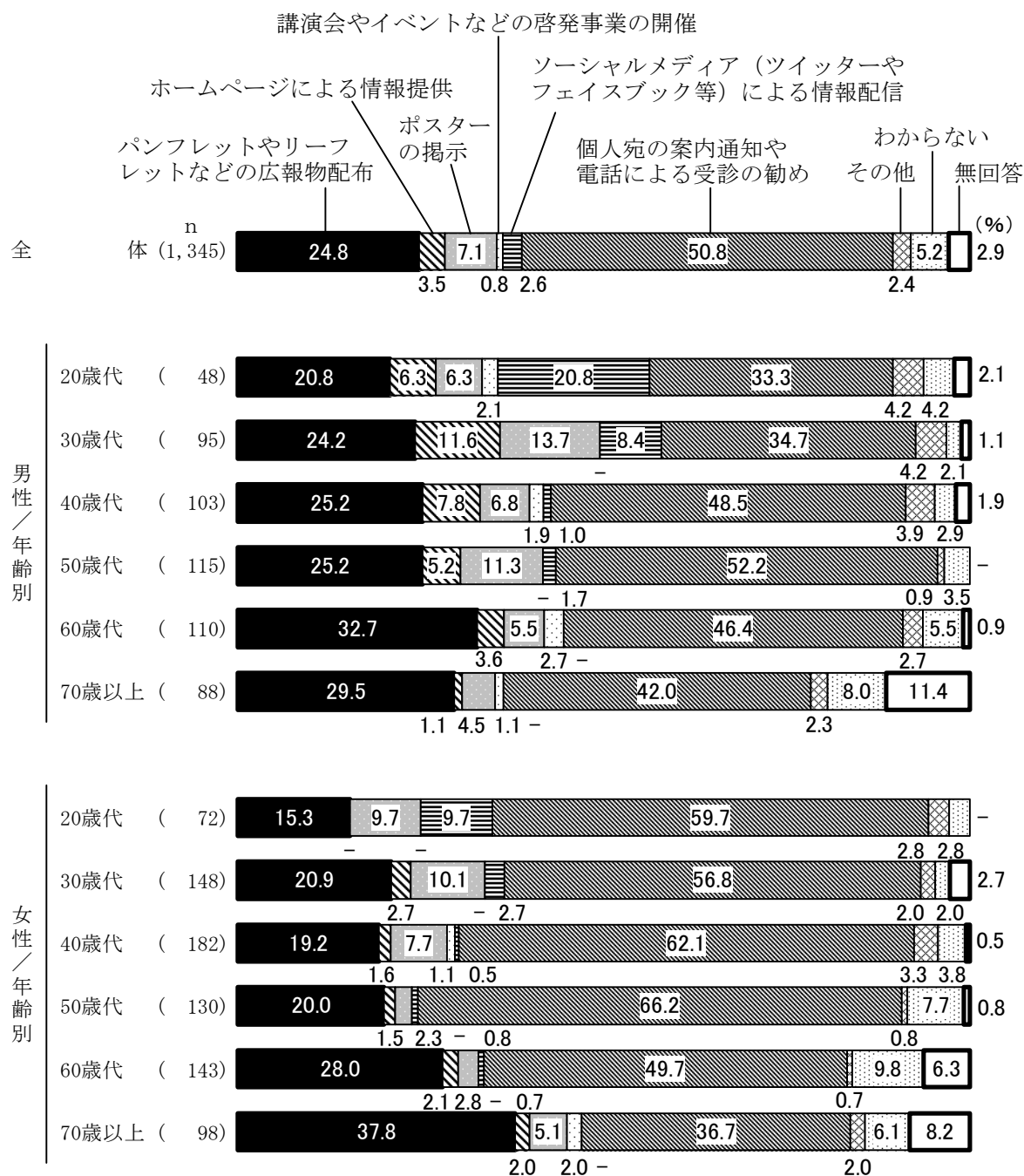
問17 川崎市のがん検診を周知する方法として、あなたが最も効果的だと思うものはどれですか。
(○は1つだけ)

図表 6-13 川崎市のがん検診の効果的な周知方法



川崎市のがん検診の効果的な周知方法は、「個人宛の案内通知や電話による受診の勧め」(50.8%) が最も多く、次いで「パンフレットやリーフレットなどの広報物配布」(24.8%)、「ポスターの掲示」(7.1%) の順となっています。

図表6-14 川崎市のがん検診の効果的な周知方法（性／年齢別）



性／年齢別では、「パンフレットやリーフレットなどの広報物配布」は、女性の70歳以上（37.8%）、男性の60歳代（32.7%）の順で多くなっています。「ソーシャルメディア（ツイッターやフェイスブック等）による情報配信」は、男性の20歳代（20.8%）で多くなっています。「個人宛の案内通知や電話による受診の勧め」は、女性の50歳代（66.2%）、40歳代（62.1%）の順で多くなっています。